

県内経済の動き

概況

〔8月～10月の動き〕

緩やかな持ち直しの動きが続く

鉱工業生産指数（8月）は8カ月連続で前年同月比低下。通関輸出額（9月 細島港）は、3カ月連続で前月の実績を上回った。百貨店・スーパー販売額（9月 全店ベース）は6カ月連続で前年比減少し、「軽」を含む乗用車の販売台数（10月）は12カ月連続で前年比増加した。新設住宅着工戸数（9月）と公共工事（9月 保証対象請負総額）は3カ月ぶりに前年を上回った。有効求人倍率（9月：1.39倍）は前月比0.01ポイント低下した。10月の企業倒産件数は、低水準（3件）を維持した。

県内経済は、一部の指標に弱い動きがみられるものの、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いている。
(厚地)